

『社会学研究』第76号(2000年11月26日刊)

特集 「社会理論と社会運動」

- ・「巻頭言 「公共社会学」と社会運動研究」(長谷川公一)
- ・「不安のコミュニケーション 社会システム理論とドイツ運動研究」(小松丈晃)
- ・「再分配をめぐる闘争と承認をめぐる闘争 フレイザー/ホネット論争の問題提起」(水上英徳)
- ・「社会運動参加研究から政治参加研究へ 合理的選択理論による社会運動参加研究の再検討」(山本英弘)
- ・「排除社会と社会運動 80年代以降のトゥレーヌ学派を中心に」(稲葉奈々子)
- ・「生という不治の病を生きるひと・聞くこと社会学・未発の社会運動 A・メルッチの未発の社会理論」(新原道信)

論説

- ・「ダールの経済民主制論 民主制の「第三の転換」」(上田耕介)
- ・「ロバート・ベラーの日本近代化論 丸山眞男による批判を中心に」(山本智宏)
- ・「抗議運動におけるフレーミング 暴力的「よそ者」の受容をめぐる戦略的ジレンマとその克服」(青木聡子)
- ・「昭和戦前期の農本主義における老農像とその変容 児玉庄太郎を事例として」(相澤出)
- ・「庄内地方・水稻単作兼業化深化集落における営農志向の現況 山形県酒田市中野曾根の事例」(三須田善暢)
- ・「自営業者と伝統工芸産業 ライフストーリー分析を用いて」(門間由記子)

書評

- ・木村邦博著『大集団のジレンマ 集合行為と集団規模の数理』(評者 長谷川計二)
- ・片瀬一男著『ライフ・イベントの社会学』(評者 菅原真枝)
- ・和泉浩著『近代音楽のパラドックス マックス・ウェーバー「音楽社会学」と音楽の合理化』(評者 川崎賢一)